


 2021年3月1日
 株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース 36号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。
 今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. ICCO、2020-2021 の世界のカカオ需給予測発表(2/27)

ICCO (国際カカオ協会) は、2月末に、2020-21 シーズンの収穫数量とカカオ豆の磨砕数量予測に関する詳細なレポートを発表し、下記のような予測となった。今シーズンの収穫量 (≒供給量) は前年対比 2.5%増加の 484 万トン、磨砕数量 (≒需要量) は 0.5%増加の 469 万トンで、磨砕と需要の対比では、10.2 万の供給過剰となると予測された。

【単位：千トン】 ICCO のWEB サイトより抜粋

Cocoa year (Oct-Sept)	2019/20		2020/21
	Previous estimates a/	Revised estimates	Forecasts
	(thousand tonnes)		
World gross production	4 697	4 726	4 843
World grindings	4 631	4 669	4 693
Surplus/deficit b/	+ 19	+ 10	+ 102
End-of-season stocks	1 741	1 730	1 832
Stocks/Grindings ratio	37.6%	37.1%	39.0%

2. マレーシアのガンチョングループ、第4四半期の利益改善で、通期でも増収増益(2/26)

2020年12月期第4四半期のガンチョン社の純利益は、前年同期の 4,328 万 RM (=マレーシアリンギット) から 9.23%増加の 4,727 万 RM (≒12 億 4 千万円相当) に押し上げた。

新たに買収した子会社ショキナグ・ホールディング社 (在ドイツ) のココア製品の販売量と収益の増加により、売上は 7 億 9,589 万 RM から 28.56%増の 10 億 2,000 万 RM (≒268 億円相当) に増加したと、同グループは発表した。

通期の純利益は、前年の2億1,795万RMから2.4%増の2億2,319万(≒58億5,650万円相当)、売上は29億4000万RMから24%増加し、36億8,000万RM(≒945億円相当)となった。今後については、グアン・チョンは長期的な見通しと将来のチョコレート需要の上昇に自信を持っていると述べた。今後も、欧州地域を中心に、幅広いカカオ成分や工業用チョコレートの市場を模索し、市場の状況に応じて生産を最適化することに引き続き重点を置く。

3. ICCO、世界のカカオ価格上昇の為に、カカオ2大生産国は、他国と強調し生産調整を(2/25)

国際カカオ機構(ICCO)の責任者は、イベントで、世界最大のカカオ生産国であるコートジボワールとガーナは、彼らがより高い価格を達成したい場合は、生産数量を抑制し、他の生産国とも力を合わせる必要があると述べた。《Chocoa》という持続可能なカカオをテーマにしたイベントで講演したミシェル・アリオンは、「コートジボワールとガーナは最近、ココア供給を制御する必要性を認めたが、その一方で他国が生産量を増やせば、期待通りにならない可能性もある」と私見を述べた。

また、同氏は、他国の生産者だけでなく、アジアと米国の消費者も含めて、より多くの関係者が、EU(欧州連合)で開始された『ガーナとコートジボワールとの持続可能なカカオの為の対話』の参加できるように今後取り組みたいと意欲を示した。

世界のカカオ市場は今シーズン20万トン以上の供給余剰を記録すると予想されており、コートジボワールとガーナの生産量は依然として拡大傾向にあるが、需要の方は、コロナウイルスのパンデミックの圧力を受け低迷している。農家の貧困に取り組むために、コートジボワールとガーナはカカオの販売に際して今年から固定された、LID=生活所得プレミアムの追加金を実施したが、この試みは完全に成功しておらず、販売価格の他の部分を引き下げることによって、生活所得のプレミアムを相殺することを余儀なくされた。また、ナイジェリア、カメルーン、エクアドルのような準大手生産国は、このスキームに関与しておらず、彼らのカカオは2大生産国より安く、また需要減退を受けて、余剰分が余っている状態だ。

カカオ産業界は、長年にわたる産業、政府、市民社会が協力して持続可能なチョコレートの原料を生産しようと努力を続けてきたが、児童労働や森林破壊などの広範な問題に悩まされている。今年に入り、経済回復の期待で農産物のコモデティ価格が反発したが、カカオの価格はほとんど変わっていない。前述のミシェル氏は、カカオ産業は、高い取引価格なしでは決して持続可能にはならないだろうと指摘した。

EUは今年、森林破壊や人権侵害に関連するココアなどの商品の輸入を防ぐことを目的としたデューデリジェンス法の導入に先立ち、コートジボワールとガーナ両国と持続可能なカカオの為の対話を開始。この法律は早ければ2024年に施行され、企業や生産国はサプライチェーンのクリーンアップを余儀なくされる可能性がある。

4. EUはコートジボワールに新たに提案予定の『持続可能な為のカカオ法』に同意を要求(2/25)

欧州連合(EU)は金曜日、コートジボワールに対し、森林の保護、児童労働の抑制、農家の貧困の終結を目指す為に、EUで今年後半に導入したいと考えているカカオ法の厳格化に備えるよう強く求めた。

昨年9月にEUは、世界のトップカカオ生産者コートジボワールとガーナの両国の代表者とカカオ生産者、市民社会の当局者と協力して、カカオ産業の持続可能性を向上させるイニシアチブを開始しました。

「ヨーロッパの消費者は、児童労働、森林破壊、またはカカオを栽培する人々の貧困について考えずにチョコレートを食いたいと考えている」と、コートジボワールのEU大使ジョブスト・フォン・キルヒマンは説明。

EUはコートジボワール豆の主要な輸出先であり、同国のカカオ輸出数量の67%を占めています。

コートジボワール政府は、森林破壊と闘うための 20 億ドルユーロ(≒24 億 4000 万米ドル)以上の要求を含む、EU から提案された法律の実施をコートジボワール政府が実行できるように EU や他国のドナーからの支援を増やして欲しいと求めた。

コートジボワールのカカオ産業は、約 100 万人の小規模農家を雇用しており、経済の 25%、輸出収益の 40% を占めています。「カカオ産業は我が国にとって最重要産業。ですので、EU の見解と我々の考えは相互の利益となるもので、方向性は同じであると考えている」とコートジボワール大統領の側近であるパトリック・アチ事務総長は本件に関して述べています。

5. 世界チョコ市場規模は 2027 年には現在比 40%拡大の 613 億ドル (≒6.5 兆円) に(2/24)

フォーチュン・ビジネス・インサイトの発表したレポートによると、世界的なココア製品、チョコレート市場の規模は、プレミアム製品や特殊チョコレート製品の需要の高まりから拡大していくと分析、予測されている。この拡大の大きな背景の一つとして、Bean to Bar に代表される新しい市場が市場全体の拡大に貢献すると述べられています。この新しいレポートでは、“ココア製品とチョコレート市場のサイズ、市場毎のシェア、COVID-19 インパクト分析、様々なカテゴリー別の 2020-2027 年の将来市場規模の予測が含まれている。カテゴリー別とは、主に製品タイプ別(カカオマス、ココアバター、ココアパウダー、ダークチョコレート、ミルクチョコレート、ホワイトチョコレート)、使用用途別(食品&飲料、化粧品、医薬品、その他)、消費地域別の市場規模の予測である。2019 年のチョコレートの世界市場規模は 443 億 5000 万ドルで、2027 年までに 613 億 4000 万ドルに達すると予測されており、年平均成長率は 4.4%になるだろう。

6. 市場のトレンド：ココア飲料の盛り上がり注目 (食品新聞より) (2/18)

「ネスレ ミロ」が刺激 ココア異例の春夏展開 健康で活性化 拡大する店頭棚 トップの森永製菓は大攻勢

ココア市場は、ココア自体の健康価値が浸透していることに加えて、昨年 7 月頃から周辺カテゴリーである麦芽飲料「ネスレミロ」が話題沸騰となったことで活性化している。ココアはこれまで季節性が高い商品であるため、スーパーや量販店では店頭棚を春夏に向け店頭棚を 1~2 段に縮小するのが通例だが、ココアの健康価値が見直されたことで、今春夏に向けてはいくつかの流通企業で店頭棚を維持・拡大する動きをみせ始めているという。健康価値への関心の高まりは、冒頭の事象に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大よるところが大きく、昨春はカカオ分 100%のココア商品が大幅に伸長し異常値を叩き出した。

続きは、下記のリンク参照

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a7a79de58110b7f33179a91b4daa7eb08d55d0e6>

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではありません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。